



(一社) 東京都トラック協会

グリーン・エコプロジェクト SDGsの取り組み

1. SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標) は、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために、17の目標と169のターゲットを掲げ「地球上の誰一人として取り残さない」ことを理念とし、持続可能な社会を実現するための国際的な目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2. グリーン・エコプロジェクトとSDGs

グリーン・エコプロジェクトでは、SDGsの目的と理念に賛同し、環境問題以外にも、そのひとつひとつの取り組みを対応することで、持続可能な社会の実現と、企業の発展に貢献していきます。

グリーン・エコプロジェクトの具体的な取り組み内容

SDGsの目標

① エコドライブ活動の継続から環境CSRへ

- 車両ごとの記録から、燃費データベースの構築へ
- 定期的な研修セミナーの開催を通じた、管理者育成と教育体制のバックアップ



② 東京都など各方面との連携

- 東京都やグリーン購入ネットワーク等との連携
- 国際的な評価と、環境教育にむけた情報発信



③ 環境対策を推進するためのインセンティブ

- インセンティブ補助事業



環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

① エコドライブ活動の継続から環境CSRへ

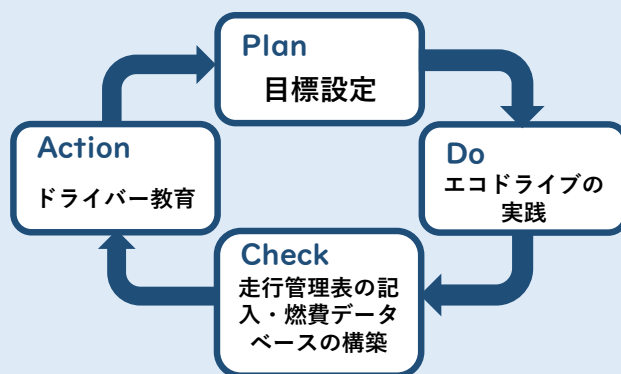
グリーン・エコプロジェクトでは、継続的なエコドライブ活動を通じ、一人一人の環境意識を向上させ、社会貢献・社会的責任を主軸とした“環境CSR（環境から進める経営改善）”につなげることを目標としています。

参加事業者が環境・教育・経営等の改善を図り、環境優良企業として信頼性の高い運送事業者を目指すために必要なサポートを、継続的に実施しています。



●車両ごとの記録から、燃費データベースの構築へ

ドライバー自らが手書きで、給油のたびに燃費を計算した、膨大な量の記録データを収集し、「燃費データベース」を構築することで、使用燃料量・CO₂排出量の把握ができるようになりました。こうしたデータをもとに、ドライバー教育や社内コミュニケーションに活用できるツールが生み出されています。



●定期的な研修セミナーの開催を通じた、管理者育成と教育体制のバックアップ

研修セミナーではディスカッション等、多様なカリキュラムを通じて、管理者の育成を推進しています。エコドライブ活動に、ドライバー自らが能動的に取り組むようになるための体制整備や、燃費の把握をきっかけとした、使用燃料量・CO₂排出量の削減、事故防止への意識向上につながる教育をサポートしています。また、研修セミナーのオンライン化など、各事業者の参加状況に応じた対応を実施しています。



② 東京都など各方面との連携

グリーン・エコプロジェクトでは、各方面と連携、協力していくことで、更なる環境負荷低減の効果を生み出すことを目指しています。

また、その取り組みや活動効果について、国内外でPR活動を行うなど、幅広い情報発信にも取り組むとともに参加事業者の環境対策への取り組み周知の支援を実施しています。



●東京都やグリーン購入ネットワーク等との連携

グリーン・エコプロジェクトでは、東京都の制度である「**東京都貨物輸送評価制度**」の設計に必要な燃費データを提供し、貨物運送事業者の評価体制基盤の構築に貢献しました。

東京都が評価取得事業者を公表すると共に、制度の周知活動を行うにあたっては、連携して取り組んでいます。



【東京都貨物輸送評価制度の概要】

東京都は、自動車からのCO₂削減を推進する取り組みとして、貨物運送事業者のエコドライブ等の日常的な取り組みを実走行燃費で評価する

「貨物輸送評価制度」を実施しています。

国内唯一の『公的なエコドライブの認証制度』であり、SDGsへの対応が重要視されるなか、ドライバーへの教育を通して、日常的な使用燃料の削減やCO₂排出削減に取り組んでいる事業者の取り組みを星の数で「見える化」します。申請に関わる費用負担はありません。

グリーン・エコプロジェクト参加事業者は、本制度への申請において『**申請書類の簡素化**』の対象となります。

グリーン・エコプロジェクトでの活動（燃費の記録&データベース化、ドライバーへの定期的な教育訓練）が、そのまま本制度の申請に活用できます。

申請準備時点においても、グリーン・エコプロジェクト事務局より様々なサポート・フォローを実施しています。

グリーン購入ネットワークの「**輸配送（貨物自動車）**」

契約ガイドラインの制定にも協力しました。

荷主や消費者に、環境優良事業者の活用を推奨する

ことで、更なるCO₂削減効果を生むことを目指した取り組みです。

また、「**エコ商品ねっと**」を通じて、GEP参加事業者の取り組みが荷主や消費者に広く周知されることで、環境優良事業者の選定・活用を後押ししています。



●国際的な評価と、環境教育にむけた情報発信

グリーン・エコプロジェクトの手法やその取り組みを国連本部や国際会議の場で発表したところ、高い評価を受けました。

国内でもイベントへの出展や、専用HPを通じた広報など、幅広い世代に向けた情報発信にも取り組んでいます。

多くの方に本プロジェクトの取り組みが周知されることで、「環境に配慮した運送事業者」が選択されるきっかけとなることを目指しています。

また、環境教育の一環として、「持続可能な開発目標」に向けた、具体的な取り組み内容を紹介しています。



■CSP大賞にて「SDGs貢献賞」を受賞■

2023年2月、第2回(2022年度)「クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）」＜主催：(一社)日本自動車会議所、共催：日刊自動車新聞社＞の表彰式が都内で開催され、グリーン・エコプロジェクトが「SDGs貢献賞」を受賞しました。

本賞は、地球温暖化防止に向けた継続的なエコドライブの実践とCO2等削減への貢献が評価されたものです。



③環境対策を推進するためのインセンティブ

グリーン・エコプロジェクトでは、参加事業者へのインセンティブを実施しています。

日々のエコドライブ活動に邁進する参加事業者の、さらなる環境対応へのモチベーション向上を図る目的で実施しています。



●参加事業者向け インセンティブ補助

- ① グリーン経営認証取得に関する補助
- ② 環境性能優良車の導入に関する補助
- ③ グリーン・エコプロジェクト参加促進に関する補助（セミナー補助）

※詳細はグリーン・エコプロジェクトHPをご確認ください

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト